

## 安全かつ早期の処理完了に向けた市の主な取組

令和 2 年 1 月 北九州市環境局

## 1. 処理の安全性確保

- 北九州 PCB 処理事業所における処理の安全性を確保するため、抜き打ちによる立入検査及び安全操業に関する報告徴収を通じたチェックを継続的に実施（毎月 2 回以上）。
- 第 1 期施設の解体撤去先行工事（昨年 6 月から着手）についても、随時、立入検査を実施し、周辺環境への配慮や安全対策が講じられていることを確認。
- また、JESCO と運転会社の会議や事業所内研修に参加して、全てのリスク情報を現場から直接収集・把握するなど、適切な操業管理を徹底（毎月 3 回以上）。

## 2. 期間内での確実な処理

- PCB 処理施設立地自治体として、PCB 処理推進に係る関係会議に出席。同会議において、国・JESCO・関係自治体に対して期間内での確実な処理に向けた取組みを強く要請。
  - ・「北九州 PCB 廃棄物処理事業に係る西日本広域協議会（福岡県との共催）」（令和元年 7 月、次回は令和 2 年 2 月予定）
  - ・「PCB 廃棄物適正処理推進に関する検討委員会（国主催）」（令和元年 10 月）
  - ・「PCB 廃棄物処理事業検討委員会（JESCO 主催）」（令和元年 10 月）
- また、安定器及び汚染物等の早期処理に向けて、関係の 72 自治体（岡山以西 38 自治体及び近畿・東海地区 34 自治体）に本市職員が個別訪問し、取組状況の把握及び本市の知見・経験を水平展開。

## 3. 地域の理解（情報発信）

- PCB 処理だより vol.42 の発行（令和元年 9 月）【別添参照】
- 北九州市 PCB 処理事業所見学ツアーの実施（令和元年 9 月）
- 第 1 期施設解体撤去先行工事見学会を JESCO と連携して実施（令和元年 12 月）
- 環境・コミュニティセンター、専用ホームページでの情報発信



高校生を対象にした見学  
ツアーを実施（40 名）



地元自治会に解体撤去工  
事見学会を実施（27 名）



コミュニティセンターに  
解体撤去コーナーを設置

(以上)